

報道・出版関係の皆様、

## 生乳向け WebASP サービスを開始！ 「生乳生産安全管理システム」・「生乳流通トレーサビリティシステム」

農林水産省平成 18 年度ユビキタス食の安全・安心システム開発事業による開発成果

社団法人 中央酪農会議

特定非営利活動法人 農業ナビゲーション研究所

特定非営利活動法人農業ナビゲーション研究所（以下農業ナビゲーション研究所）は社団法人中央酪農会議（以下中央酪農会議）の協力により、農林水産省平成 18 年度ユビキタス食の安全・安心システム開発事業において、安全な生乳の生産と流通の管理を実現する「生乳生産安全管理システム」と「生乳流通トレーサビリティシステム」を開発しました。合わせて、酪農とちぎ農協と同組合管内生産者による現地実証の結果、両システムの有効性と実用性が確認されました。

システムの開発に当たっては、酪農組合、生産者などの他に、乳業メーカはじめ農水省、行政機関、大学などの試験研究機関など生乳の生産と流通の事業者と専門家の多数の参画をいただきました。

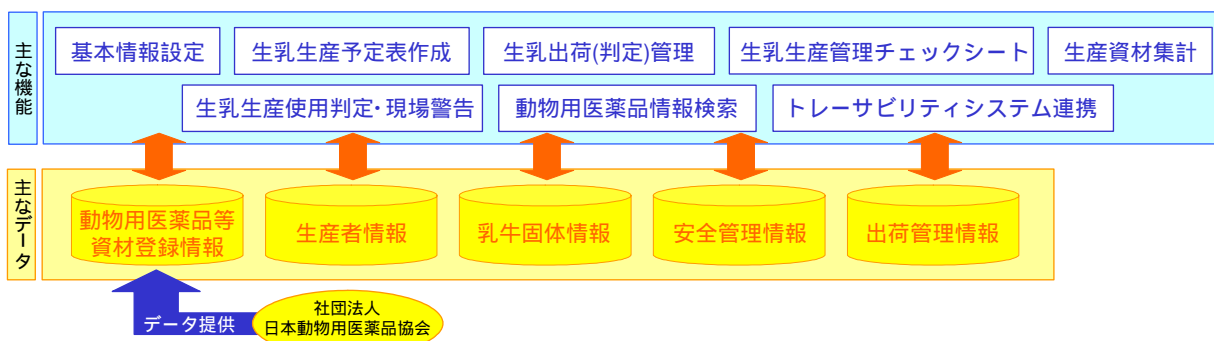
「生乳生産安全管理システム」は、生乳生産で使用する動物用医薬品の禁止期間・休薬期間の判定により投薬牛の生乳出荷が可能かどうかなどの確認ができる点を特徴としています。また、確認した結果を含めて、様々な生乳生産管理情報の履歴記帳を簡易に行うことができます。更に、動物用医薬品の登録情報の照会や作業予定表の管理、使用した資材の集計、出荷情報の管理など生乳生産の安全管理に総合的に対応します。

当システムは、中央酪農会議が全国統一で推進する生産段階での記録・記帳のための「生乳生産管理チェックシート」（冊子）の内容に準拠しており、同チェックシートの記帳推進を支援する標準システムとして運用されます。冊子に比べて記帳の手間を省くとともに、記帳された情報の有効活用を図ることができます。運用に当たっては、中央酪農会議をはじめとした酪農生産者組織と農業ナビゲーション研究所の協力により、全国の酪農家が安心してシステムを利用できる体制を整備していきます。

また「生乳流通トレーサビリティシステム」は、搾乳牛からバルククーラー、集乳車、クーラーステーションの貯乳タンク、送乳車、乳業メーカまでの入出荷の履歴情報を収集・管理します。これにより、生乳のチェントレーサビリティを実現します。流通段階で何らかの問題が発生した場合の影響範囲を迅速に把握し、回収などの対応を容易にします。

今回のシステムは、全国的な普及を目的として、利用者のシステム投資を出来る限り抑えるため、農業ナビゲーション研究所内のデータセンター（nnaviセンター）での集中一元管理による WebASP サービスとして提供します。インターネットを介して、パソコンか携帯電話でいつでも、どこでも利用することができます。OCR 記帳用紙の読み取りにも対応します。生産者だけでなく酪農組合でもサーバ機などを用意する必要がありません。これにより、生産者、酪農組合での迅速かつ広範な導入が期待できます。

「生乳生産安全管理システム」ASPサービスの概要



(1) システムの特徴

- ・動物用医薬品の登録情報に加えて、その他資材、病名、配合飼料や作業ヘルパーなど各種基本情報をマスター情報として各酪農組合・各生産者毎に登録、利用します。
- ・個体コード、名号、生育ステージ、牛群区分、分娩情報、出生情報などの乳牛個体情報をマスター管理します。
- ・生乳の生産安全管理に必要な管理記録や作業記録などを履歴情報として一元管理します。
- ・動物用医薬品の使用禁止期間・休薬期間の事前判定、検査結果の確認など搾乳・出荷時に必要な安全確認を行ないます。
- ・搾乳・出荷時の判定結果をチェックシートに自動記帳します。
- ・搾乳・出荷情報は生乳流通トレーサビリティシステムへ連動します。
- ・専従者や作業ヘルパーを含めた複数作業者の作業予定管理、携帯メールによる情報連絡を行ないます。
- ・パソコンもしくは携帯電話のWebブラウザで利用します。
- ・中央酪農会議の「生乳生産管理マニュアル」、「生乳生産管理チェックシート」に準拠します。

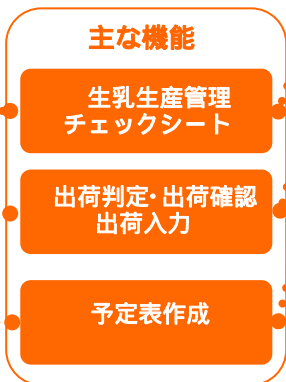
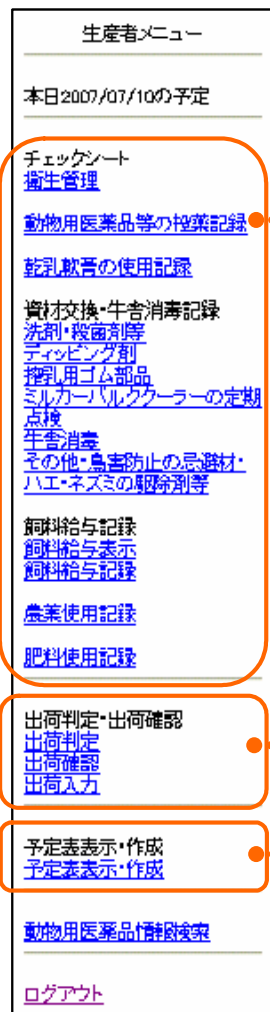


(2) システム利用のメリット

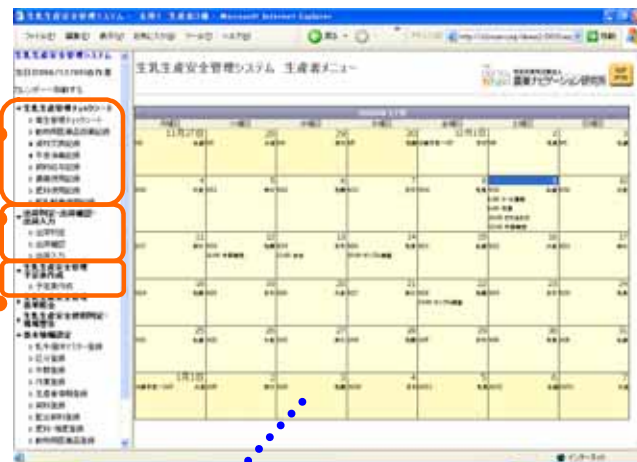
- ・登録情報に基づき判定・確認することにより、安全・確実な出荷処理を実現します。
- ・生乳生産情報の管理だけでなく、乳牛の状態を把握することで、適切な処置ができます。
- ・携帯電話の利用により時間と場所を選ばずシステムを利用することができ、作業の効率化とタイムリーな運用が可能になります。
- ・専従者や作業ヘルパーとの情報共有だけでなく、生産者と集出荷団体との情報共有も実現します。
- ・集出荷団体による生産指導、計画生産などに活用することができます。

「生乳生産安全管理システム」ASPサービスの処理メニュー

【生産者メニュー（携帯電話）】

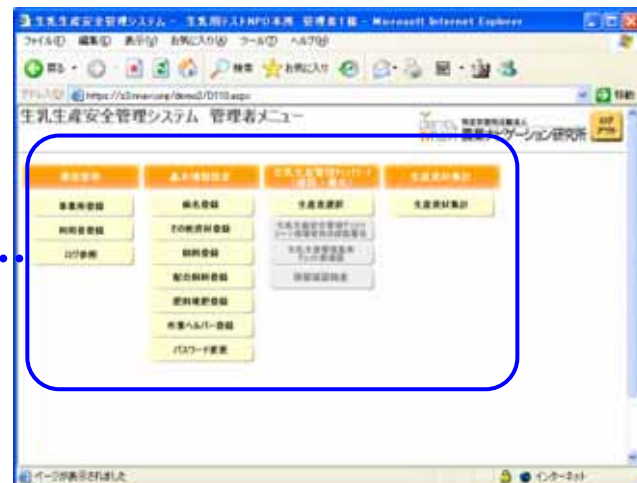


【生産者メニュー（パソコン）】



カレンダー上に予定内容や分娩予定日などを表示します。

【集出荷団体メニュー（管理者用）】



- ・集出荷団体の管理者メニューには、運用管理のための機能が表示されます。  
 運用管理： 事業所や利用者の登録、ログ参照  
 基本情報設定： 病名、配合飼料、作業ヘルパーなどのマスター登録  
 生乳生産管理チェックシート： 生産者の記帳確認、検査結果などの署名  
 生産資材集計： 出荷乳量、頭数、薬剤使用実績などの集計

実証事業に参画した主な協力団体

- ( 1 ) 産地・集出荷団体  
社団法人中央酪農会議、関東生乳販売農業協同組合連合会、酪農とちぎ農業協同組合
- ( 2 ) 乳業メーカー  
明治乳業株式会社、栃木明治牛乳株式会社、森永乳業株式会社
- ( 3 ) 協力機関・団体  
独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター・果樹研究所、  
農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課・農産安全管理課、農林水産省動物医薬品検査所、  
独立行政法人肥飼料検査所、社団法人日本動物用医薬品協会、社団法人日本獣医師会、  
社団法人日本酪農乳業協会、社団法人全国農業改良普及支援協会、筑波大学大学院、  
東京農業大学、茨城大学
- ( 4 ) システムベンダー  
ソリマチ株式会社、ソリマチハイテクノロジー株式会社、株式会社NTTデータ、  
富士通株式会社、株式会社アグリコミュニケーションズ、日本電気株式会社、有限会社アームズ
- ( 5 ) 事業実施団体  
特定非営利活動法人農業ナビゲーション研究所

本件の問い合わせ先



特定非営利活動法人 農業ナビゲーション研究所

事務局 TEL : 03-5791-3550 FAX : 03-5791-3568 Mail : info@nnavi.org

《 N P O の 紹 介 》

当研究所は、産官学民一体となって、農薬、肥料、動物用医薬品などに代表される生産資材の適正使用を支援するナビゲーションシステムに関する研究、開発・運用、普及・啓発活動などの事業を行い、生産資材の誤用防止・適正使用を推進し、安全で安心な食生活ができる健康的で豊かな社会の実現に寄与することを目的として、平成18年7月に設立されました。

設 立 2006年7月25日

所 在 地 〒141-0022 東京都品川区東五反田3丁目18番6号 ソリマチ第8ビル5階

事業内容 ・調査・研究事業                      ・情報処理サービス事業                      ・システム開発・運用事業  
                    ・教育・研修事業                      ・普及・啓発事業                      ・ネットワーク構築事業

主な構成員 農水省関連の試験研究機関・普及機関、国立大学、民間企業に属する法人・個人など

以上